

史学委員会教育現場・社会における歴史実践と歴史認識に関する分科会（第26期・第3回）

議事要旨

日 時：令和7年1月13日（月）10：00～12：15

場 所：オンライン（Zoom）開催

出席者：大橋 幸泰（世話人）、小田中 直樹、飯塚 一幸、石居 人也、加藤圭木、鎌倉 佐保、川島 真、河西 秀哉、京樂 真帆子、栗田 禎子、久留島典子、小嶋 茂稔、小浜 正子、坂井 俊樹、三時 眞貴子、鈴木 茂、高橋 博子、都丸 潤子、中野 聡、中村 元哉、林 佳世子、平野 千果子（以上、22名）

欠席者：奥村 弘、近藤 孝弘、佐野 正博、姫岡とし子、若尾 政希

議題

1. 前回の議事録の確認

前回議事要旨の確認を行い、承認された。

2. 歴史教育シンポジウム（2024.10.27 日開催）

委員長からシンポジウムについての報告が行われた

3. 歴史の教員養成について

委員長からこれまでの分科会やシンポジウムで議論されてきたことを踏まえて論点の整理が行われた。これをもとに、委員による意見交換、議論が行われた。

4. その他

例年通り、10月末に日歴協との共催でシンポジウムを行うことと、その準備状況、今後のスケジュールについて報告された。

日本学術会議の法人化問題について現状の報告と意見交換が行われた。

次回の分科会は、6月ごろに開催予定であることが確認された。

以上